コトウラ観光産業化プロジェクト(地方創生推進交付金事業)について
（地方創生推進交付金〔横展開タイプ３年間〕活用）

商工観光課

１　現状と課題

○観光客数は 2014 年 71 万４千人をピークとして、2018 年は 67 万６千人と減少傾向となっている。
○町内各観光地点の観光客数では道の駅が全体の 86%を占めており、町内その他の観光地への誘導ができていない。
○旅行会社への売り込みにより観光バスは増加したものの、お金を落としていただく仕組みが構築できていない。

２　目指す将来像

○琴浦町にある地域資源を今一度洗い出し、体系的に整理統合のうえ観光戦略を練り直す。
○観光戦略の策定にあたっては、ICT 先端技術によるビッグデータを活用した人流分析を行い、食と観光資産を再構成した観光戦略を再立案(リブランディング)する。
○最終的には、広義の観光振興を通じて、地域の農水畜産業、商工業を活性化させ、豊かで活力ある琴浦町の未来を創り、持続可能なまちづくりを目指す。

３　全体の事業概要

（１）　観光戦略の策定(観光戦略の検討・推進)
（２）　スマートフォンのビッグデータ(位置情報)を活用した分析、ターゲットを絞った広報戦略、観光商品づくり
（３）　情報戦略の構築及びＰＲ媒体の整備
（２つの道の駅の情報発信機能の強化及び活用方法の再考、施設の一部改修)
（４）　農畜海産物等、地域資源を活用した観光商品の開発
（５）　インバウンド対策による外国人観光客の誘客

４　今年度の事業計画

項　　目	内　　容	予算額
観光ビジョン策定委員会開催	委員報償費、外部有識者費用弁償	700 千円
観光マーケティングインフラ構築	AI Beacon システムの導入（人流分析）	8,000 千円
道の駅活性化計画の策定	現状診断・分析・再生計画	8,000 千円
リブランディング企画制作	ロゴ等のブランド再開発	3,000 千円
観光情報発信機能の強化	広報媒体制作、ＨＰ改修	7,000 千円
合　　計		26,700 千円

５　交付金のスケジュール

交付金の内示予定	８月上旬
交付金の交付決定予定	８月下旬

事業名称：コトウラ観光産業化プロジェクト （横展開タイプ　3年間）

【背景・課題】

●観光入込動態調査によると、観光客数はH26年の71万4千人をピークとして、減少傾向（H30年67万6千人）。また、2つの道の駅が観光客全体の86%を占めており、町内の観光地へ誘導できていない。

●要因としては、グルメストリートの活動中止や拡大傾向にあるインバウンドに積極的でなかったこと、新たな観光資源の掘り起こしが出来なかったことなどが考えられ、地域間競争に勝てていない。

●観光協会においては、旅行会社への売り込みにより、観光バスを増やすという成果は出ているものの、旅行客にお金を落としていただく仕組みを構築できていない。

【新たな動き】

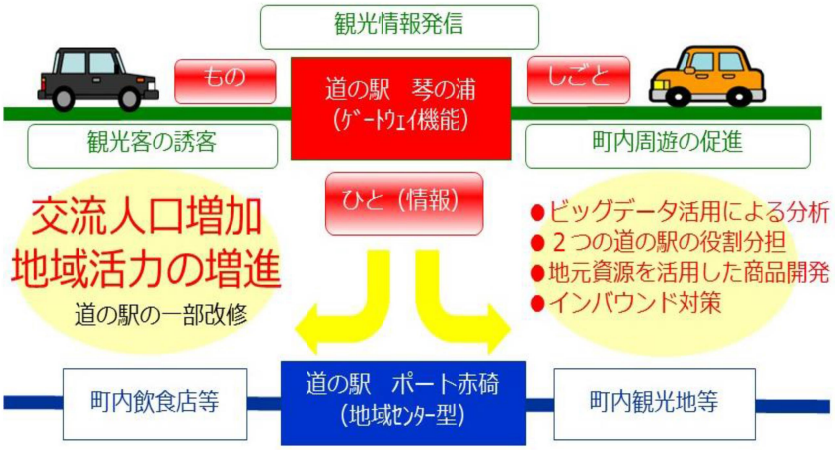
●町内3施設（光の鑓絵、神﨑神社、塩谷定好写真記念館）がミシュラングリーンガイド選定

●山陰道沿い道の駅「琴の浦」のインターチェンジ化

●とっとり琴浦グランサーモンの誕生

●民泊の整備（国登録有形文化財に認定された茅葺古民家）

●国内最大級の外国人向けサイト「ガイジンポット」において、鳥取県が「外国人が訪れるべき日本の観光地ランキング」1位



町にある地域資源を「食」に限らず全てにおいて今一度洗い出して体系的に整理統合し、観光戦略を練り直す。

ICT先端技術によるビッグデータを活用した人流分析でターゲットを絞った戦略を策定し、観光拠点である道の駅「琴の浦」から町内を周遊する取組みを推進することにより、最終的には、広義の観光振興を通じて、地域の農水畜産業、商工業それぞれを活性化させ、豊かで活力ある琴浦町の未来を創り、誰一人取り残さない持続可能なまちづくりを目指す。

事業名称：コトウラ観光産業化プロジェクト （横展開タイプ　3年間）

【実施事業】　計　73,502千円

●観光戦略の策定（観光戦略の検討・推進）

関係団体のほか外部の有識者（地方創生人材支援制度も活用）も構成員とした観光戦略会議を開催し、地域資源を今一度洗い出し・体型的に整理統合した観光戦略を策定する。

●スマートフォンのビッグデータ（位置情報）を活用した分析（ターゲットを絞った広報戦略、観光商品づくり）

ターゲットを絞った戦略を策定・展開していくため、AI Beaconシステムを活用した高度な人流分析を行い、現状の分析及び狙うべき町の観光客を鮮明とさせる。

●情報戦略の構築及びPR媒体の整備
（2つの道の駅の情報発信機能の強化及び活用方法の再考、施設の一部改修）

体系的に整理した戦略に基づき、情報戦略と広範な産業・観光振興と販売戦略の具体的施策を構築し、ターゲットと訴求内容等を明確にしたPR施策を再整備することにより、観光客の増加へと繋げる。また、本町のゲートウェイとなる2つの道の駅の活用方法等を再検討、整備することにより、道の駅の情報発信機能を強化し、町内への周遊観光を促進させる。

●農畜海産物等、地域資源を活用した観光商品の開発

農畜海産物が豊富な本町の強みを活かし、地域資源を活用した観光関連商品を開発することにより、2つの道の駅を核とした観光消費額の増加へ繋げ、稼ぐ力を発揮していく。

●インバウンド対策による外国人観光客の誘客

国内最大級の外国人向けサイト「ガイジンポット」において鳥取県は「外国人が訪れるべき日本の観光地ランキング」1位となった。外国人観光客のトレンドが地方に向けられつつあること、町内の3施設がミシュラングリーンガイドに選定されたことから、これまで実施していなかったインバウンド対策に取り組むことにより、減少する観光入込客を増加させ、町全体の地域産業の振興を図る。

項　目		1年	2年	3年	経費
（1）観光戦略の策定（観光戦略の検討・推進）					2,100
①	戦略会議（有識者の招聘等も含む）	○	○	○	2,100
（2）スマホのビッグデータを活用した分析					24,000
①	AI Beaconシステムの設置・運用	○	○	○	24,000
（3）情報戦略の構築及びPR媒体の整備					38,402
①	リブランディング企画制作	○			3,000
②	パンフレット制作、動画制作、ホームページ制作	○			7,000
③	道の駅再生計画策定	○			8,000
④	道の駅一部改修（道の駅「琴の浦」）		○		20,402
（4）農畜海産物等を活用した観光商品の開発					3,000
①	既存商品のブラッシュアップ		○		1,000
②	観光関連商品の新開発（試作）		○		2,000
（5）インバウンド対策による外国人観光客の誘客					6,000
①	各種観光施設の多言語化整備		○	○	1,000
②	海外向けSNS情報等の発信業務		○	○	5,000
計　73,502千円（町負担額36,751千円）					

※AI Beaconシステム（博報堂と㈱アドインテが開発）
スマートフォンユーザーのデータを匿名状態で広範囲に取得・蓄積し、そのビッグデータを解析することができるシステム。滞在状況や滞在時間の分布が測定可能となり、アンケートやサンプル調査では分からなかった琴浦町観光客の様々な特徴を分析・把握できる。このシステムの活用により、他エリアでは実施例の少ない、かつより精度の高い観光マーケティングを実施する。

項　目	現状値（H30）	目標値	増加数
道の駅以外の観光入込客数	96,474人	156,474人	60,000人
道の駅「琴の浦」のレジカウンタ数	261,447人	381,447人	120,000人
観光ガイドによる案内者数	6,675人	8,175人	1,500人
観光関連雇用創出者数	0人	10人	10人

当面の事業予定について

商工観光課

１　白鳳祭

（１）　日時　８月４日(日)　16 時 00 分から 21 時 00 分まで

（２）　場所　東伯総合公園

２　とっとり琴浦グランサーモンフェスタ

（１）　日にち　８月 23 日(金)から 10 月 22 日(火・祝日)まで

（２）　内容

ア　３店舗分のスタンプを集め応募すると賞品が当たるスタンプラリー

イ　町内の 13 店舗でサーモンを素材としたメニューを提供

３　フラ・フェスティバル日本大会 in 鳥取

（１）　日にち　８月 30 日(金)から９月１日(日)まで

（２）　場所　鳥取県立倉吉未来中心

（３）　その他　８月 29 日(木)、琴の浦高等特別支援学校でプレイベント

４　東大山古道トレッキング

（１）　日にち　９月８日(日)

（２）　場所　一向平キャンプ場

（３）　内容　大山開山 1300 年祭の一環として、大山滝までの山歩きを実施

５　琴浦グルメ de めぐるウォーク

（１）　日にち　９月 23 日(月・祝日)

（２）　主会場　東伯総合公園

（３）　内容

ア　琴の浦コース(７㎞)

イ　八橋コース(５㎞)

（４）　その他

ア　ゲストウォーカーとして、西谷綾子さんを招聘予定

イ　出発前イベントとして、谷川哲也さんによる歩き方体験を予定